

nal-IRI + 5-FU/LV療法を受けられる方へ

●nal-IRI + 5-FU/LV療法とは、オニバイド®とレボホリナート、5-FUの3剤を組み合わせた膵がんに対する治療法です。

投与スケジュール

1日目	2日目以降
オニバイド® 点滴	休薬期間
レボホリナート 点滴	
5-FU 持続静注(携帯型ポンプ*:46時間)	

1コース(2週間)

2週間を1コースとして繰り返します。

* 携帯型ポンプは自動的にお薬を送り出す装置です。温度や活動状況によりわずかに速さが変化することがあるので、5-FUの持続静注の時間は多少前後しますが心配ありません。

◇流量制御部を皮膚に密着させて、体表温度と同じになるようにしてください。

◇就寝時はポンプを枕元に置くようにしましょう。

◇針の刺入部をぶつけたり、チューブを折り曲げたりしないようにしましょう。



主な副作用と発現時期

次のような症状があらわれたら、医療スタッフにお知らせください。

※ 個人差があるので、その他の副作用についても十分注意して下さい。

治療当日～数日	●下痢(早発性)	●発汗・鼻汁	●吐き気・嘔吐
数日～数週間	●下痢(遅発性) ●白血球減少	●口内炎 ●血小板減少	
数週間～数ヵ月	●脱毛	●貧血	

◇下痢

オニバイド®の副作用による下痢には、投与後24時間以内に現れる『早発性』の下痢と、数日～2週間後に現れてくる『遅発性』の下痢の2種類があります。

1日4回以上の排便や水様便がみられた場合はすぐに受診してください。

下痢がある場合は乳酸菌食品の摂取を控えるようにしましょう。

水分をこまめに摂り、温かくして安静に過ごしましょう。

◇吐き気・嘔吐、食欲不振

なるべく水分を摂るようにし、消化の良いものや食べたいものを少量ずつ食べるようにしましょう。

◇脱毛

髪の毛やからだの毛が抜けることがあります。治療が終われば3～6か月後には再び生えてきます。

低刺激性のシャンプーを用いるなど、頭皮への刺激を極力避けるようにしましょう。

◇口内炎

うがいなどで、日頃から口の中を清潔に保つようにしましょう。

◇白血球減少:発熱、寒気、咳、喉の痛みなど

38℃以上の発熱や寒気、咳、喉の痛みなどの症状が出た場合はすぐに受診してください。

外出時はマスクを着用し、人混みを避けましょう。手洗い、うがいをこまめにしましょう。

◇血小板減少:血が出やすい、アザができる

血が止まりにくくなるため、ケガや転倒、打撲には十分注意し、また鼻かみや歯磨きは優しく行うようにしましょう。

◇貧血:めまい・息切れ・倦怠感

赤血球が減少すると、めまいや立ちくらみを起こすことがあります。

急激な動作は控え、疲れを感じたら、あまり無理をせず、こまめに休むようにしましょう。